

紀伊の風

令和6年（2024年）6月号
和歌山市立紀伊小学校だより



輝く子どもの姿をめざして



紫陽花のつぼみが膨らみ始め、1年生が植えた朝顔もかわいい芽がでてきました。日中は、汗ばむほどの季節となり、向暑の折、体調を崩さないように気をつけたいものです。

さて、6月4日は紀伊小学校132年目の創立記念日となります。運動場では、樹齢100年を超えたクスノキの周りで鬼ごっこやドッジボールなど、楽しく遊ぶ姿が見られます。

学校行事では、校歌が元気いっぱいに歌われ、アフターコロナの今、「人とのかわり」や「声を使った表現」が豊かに行えるようになってきました。音読やグループでの相談、発表、歌唱など。昨年度の音楽会では、コロナ禍で制限されていた歌唱が可能になり、「歌う喜び」「歌える喜び」に満ちていました。まだまだ消えたわけではない新型コロナウイルス感染拡大にも配慮しながら、従来、学校が大切にしてきた様々な授業形態を取り戻し、子供たちの豊かな成長を支援しています。

春の遠足や社会見学をはじめ、人との交流を図りながら、出前授業や体験学習で、より豊かな人間性の育成に力を注いでいます。子どもたちにとって楽しく有意義な活動は、満足感と喜びといった「心の充実」を得ることでしょう。「みんなでやると楽しいな。」という経験が子どもたちを豊かにしていきます。

これからの季節は、水泳学習も始まります。子どもたちが元気いっぱい活動できるように、早寝・早起き・朝ご飯のご協力をお願いいたします。

学校長 杉野裕香子

【1年生を迎える集会（5/7）】

花のアーチをくぐって、拍手と共に1年生87名が入場。入学をみんなでお祝いしました。

2年生からアサガオの花の種をプレゼントしてもらったり、6年間の成長を比べたり、楽しい時間を共に過ごしました。



【授業参観（5/10）】

保護者の皆様にはお忙しい中、授業参観やミニ懇談会、愛育会総会にご出席いただき、誠にありがとうございました。